

mRNA創薬、イノベーションのジレンマ そしてメタバース

この文章が掲載される頃には既に終わっていますが、2月のSCE・Net技術懇談会ではmRNAの疾患治療・再生医療を、また昨年12月の技術懇談会では、クリステンセンのイノベーションのジレンマを題材に、専門家の先生をお招きして講演をして頂きました。

また、毎回、SCE・Netの会員から、それぞれのご専門のエネルギーや環境問題、安全防災など様々な分野に関するプレゼンテーションもあります。講演会終了後には講師を交えた懇談の場もあり、話題が広がります。

題材は、化学、化学工学に限ることなく、上記の如くup-to-dateな話題を幅広く取り上げていますので、是非一度覗いてみて頂ければと思います。

この技術懇談会、コロナの感染拡大に伴い、一昨年秋からはZoomを使ったリモート開催に切り替えましたが、従来のリアル開催では参加が難しかった、遠方にお住いの方々にも気軽に参加して頂ける様になり、会員の輪が広がっています。半面、face-to-faceで懇親を深められるリアルの魅力も捨てがたいとの思いもあり、hybrid開催の検討も進めています。

ここ2年にわたるコロナ危機を境に、様々な場面でリアルからリモートへの移行が進んでいます。リアル／リモートそれぞれの良いところを活かすとすると、好むと好まざるとにかかわらず、この先はメタバース的な世界でしょうか。講演会、懇談会など、アバターが参加して仮想空間で開催する日が来るのもそう遠くないのではないかと思います。それは、或る意味、リアルよりもリアルな世界かもしれません。

(SCE・Net 技術懇談会 八馬 進)